

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2016, 6, 17 NO, 189

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



いよいよ参議院選 6月22日公示 7月10日投票 野党共闘の勝利と日本共産党の躍進を！

安倍政権の暴走政治から くらし、平和を守る選挙

6月22日公示、7月10日投票の参議院選挙が目前に迫りました。今回の選挙は、戦争法(安保法制)の強行、アベノミクスによる貧困と格差の拡大など国民のくらしと平和、民主主義を破壊してきた安倍政権をストップさせるための重要な機会となります。日本共産党と民進党、社民党、生活の党は野党共闘に取り組み、全国32の参院選1人区のすべてで野党統一候補の擁立を実現することが出来ました。全国的に共闘を行うのは史上初めてのことです。『市民十野党共闘』対『安倍・自公と補完勢力』の対決構図が明確となりました。安倍政権の暴走を止め、国民が主人公の新しい政治を実現するために、全力をあげます。

大激戦の東京選挙区 山添拓候補 初当選必ず

定数6名の東京選挙区には、日本共産党の山添拓候補も含め多数立候補の大激戦になる見通しです。弁護士として、社会正義と弱者のために働いてきた山添氏。"憲法を生かす若きリーダー"として、期待と注目が集まっています。

日本共産党は、首都東京で、比例で110万票以上を獲得して第1党へと躍進し、田村智子副委員長

をはじめとする比例9候補の当選に貢献するとともに、山添拓候補の初議席を必ず勝ち取るために、全力をあげます。



世論の力と共産党の追及で 舛添都知事 辞職

政治資金の不正支出疑惑などで批判を受けている舛添東京都知事は、15日辞職願を提出。都議会です承されました。

一連の疑惑は、共産党都議団が、4月に高額海外出張の実態を告発したことが発端でした。そこに世論の批判が加わり、知事の続投を断念させる大きな力となりました。



知事の辞職は当然ですが、辞めて済む話ではありません。疑惑の全容説明が必要であり、15日の都議会本会議で、共産党都議団は、疑惑説明のため、強力な権限を持つ百条委員会の設置を求める動議を生活者ネットとともに提出。しかし、自民、公明などが反対し、動議は否決されました。真相説明に背を向けた会派の責任は重大であり、都民からは批判の声が上がっています。



参議員選挙で、舛添氏を全面支援し、真相究明の道を閉ざした自民、公明の責任を、大いに追及していくにはありませんか

総務委員会で追及する曾根はじめ都議(右)。記者会見する吉田信夫都議(左)

日本共産党は、清潔な都政をつくるために、幅広い都民や団体のみなさん、共闘できるすべての政党とともに全力をつくす決意です。

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

保健福祉委員会で陳情審査 日本共産党は採択を主張 「東原公園を残して」陳情を不採択

地域の絆と 子どもたちの未来のために

6月6日の区議会保健福祉委員会で、久我山東原公園の存続を求める陳情が審査されました。

陳情の趣旨は、保育所用地として転用される東原公園について「地域の絆と子供たちの未来の為に、より良い形で残してください」というもので、地元町会長、日ごろ公園を利用する児童の保護者らが提出したものです。

公園存続を求める声は 地元住民のエゴではない

陳情提出者は陳情の補足説明に際し『保育園の増設に反対するものではない』とし、この公園が22年前、地域に公園が無いために住民と行政がともに造った経緯を説明。『日頃から近隣住民や子どもたちが集まり、利用頻度が極めて高い』『公園転用をせずに済む代替方法も提案しており、区は住民と共に考えてほしい』と説明しました。

今回の問題は、保育園建設に反対する住民のエゴではありません。住民不在のまま計画を決定し、地域住民に愛された公園を乱暴に転用しようとする区の進め方は問題です。

荻窪ハーモニーまつりに出店

6月4・5日、荻窪ハーモニーまつりが開催され、すずらん通りにお店を出しました。大勢の方が立ち寄ってくださいました。



60名の参加で女性のつどい

6月11日、田村智子参議院議員を迎え、杉並女性後援会のつどいが行われ、60名が参加しました。『女性のパワーで参院選を勝利しよう』と、活気あふれるつどいとなりました。



区の失政を告発し、 解決策を提案

質疑の中で、日本共産党区議団は、田中区長就任から数年間、認可保育所を増設してこなかった経過を指摘し、区長自らが作り出した『緊急事態』の問題を告発しました。また、計画の拙速な進め方の問題点や地域と共存する保育所整備の必要性を訴えました。解決策も提案し、300億円を超える財政調整基金を活用し、民有地を取得・活用する方法を提示しました。

区議会の責任が問われる

採決では、日本共産党区議団と他2党派が採択を主張しましたが、自民、公明、未来、平和などが採択に反対し、不採択となりました。陳情を不採択とした各党派からも、区の計画の拙速な進め方に「猛省を促す」等の発言もありました。しかし、計画先に取りき、区長追従で、今計画に関わる補正予算の継続審査を求める動議なども否決し、計画に賛成した議員の責任が厳しく問われます。